

カジノの問題点浮き彫りに

日本共産党 山中議員が事業者側に質問

大阪市議会で参考人質疑

カジノを核とする統合型リゾート（IR）を大阪湾の埋め立て地、夢洲（ゆめしま）に誘致するための「区域整備計画」に同意するかどうかが問われる府議会、大阪市議会が大詰めを迎えています。大阪市議会都市経済委員会は16日、カジノ事業者の「大阪IR株式会社」から2人の代表取締役を迎えて参考人質疑を実施。日本共産党の山中智子議員の質問を通して、カジノ誘致の重大な問題点が浮き彫りになりました。

表明することはありうるのか」とたどりました。

追加の公費負担 あるかも知れぬ

「大阪IR株式会社」この日の質疑で高橋氏は、米カジノ大手・MG M は、790億円もの土壌対策費について、「公費で土壌対策がされなければ、事業の進捗（しんちよく）が困難だと府・市に伝えた」と人として日本MG M リゾーツのエドワード・パウワーズ社長と、オリックスの高橋豊典執行役が出席しました。



参考人質疑で質問に立つ山中議員。16日、大阪市議会都市経済委員会

し、MG M とオリックスが事業の準備に数十億円ものコストをかけているのは、投資に見合うからだと説明。「私たちの事業だけでなく、大阪市民や大阪経済にも貢献する」などと述べました。

入場者の2%が 依存症を抱える

パウワーズ氏は「いろいろな意見があることは理解している」と述べた上で、「責任あるゲーミング（ギャンブル）を行うお客様が全体の約98%で、ギャンブル依存症を抱えているかも知れない約2%に実際に問題が起きないようにサポートすると答弁。入場者の約2%に依存症が発生することを認めました。

投資に見合った 収益があるのか

山中氏は、「区域整備計画」では大阪IRの初期投資額は1兆800億円、銀行借入れは5500億円、IR全体の売上5200億円のうち、賭博である

カジノ誘致より コロナ対策こそ

山中氏は、「IR事業の収益の核はカジノであり、「収益を上げれば上げるほど、不幸になる人が増える

大阪で開かれた住民説明会や公聴会、パブリックコメントでは圧倒的に反対の声が多く、世論調査でも賛成が多数ではないと指摘。「大阪ではコロナ対策が不十分で、第6波では人口当たりの死者数が東京の3倍。原因究明と抜本的対策が求められる時にIR誘致どころではない」との声も多し。夢洲の土壌対策に巨費を使うよりも、コロナ対策をという声も強い」と強調しました。

ました。

大阪で開かれた住民説明

会や公聴会、パブリックコメントでは圧倒的に反対の声が多く、世論調査でも賛成が多数ではないと指摘。

「大阪ではコロナ対策が不十分で、第6波では人口当たりの死者数が東京の3倍。原因究明と抜本的対策が求められる時にIR誘致どころではない」との声も多し。夢洲の土壌対策に巨費を使うよりも、コロナ対策をという声も強い」と強調しました。

パウワーズ氏は「いろいろな意見があることは理解している」と述べた上で、「責任あるゲーミング（ギャンブル）を行うお客様が全体の約98%で、ギャンブル依存症を抱えているかも知れない約2%に実際に問題が起きないようにサポートすると答弁。入場者の約2%に依存症が発生することを認めました。

山中氏は「大阪周辺の一般人がターゲットであり、大阪進出に固執しました。

「安易に撤退を判断するのは考えられない」として、大阪進出に固執しました。